

## 地球温暖化対策実施状況報告書

2019年 7月 26日

（報告先）  
横浜市長

住所 埼玉県さいたま市中央区上落合8-3-32

氏名 株式会社 島忠  
代表取締役社長 岡野 恭明

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

### 1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	株式会社 島忠 代表取締役社長 岡野 恭明（旧 代表取締役社長 山下 視希夫）				
事業者の主たる事業所の所在地	埼玉県さいたま市中央区上落合8-3-32				
主たる事業の業種	大分類	I 卸売・小売業			
	中分類	56 各種商品小売業			
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
	原油換算エネルギー使用量	2,163	kl	自動車の台数	台

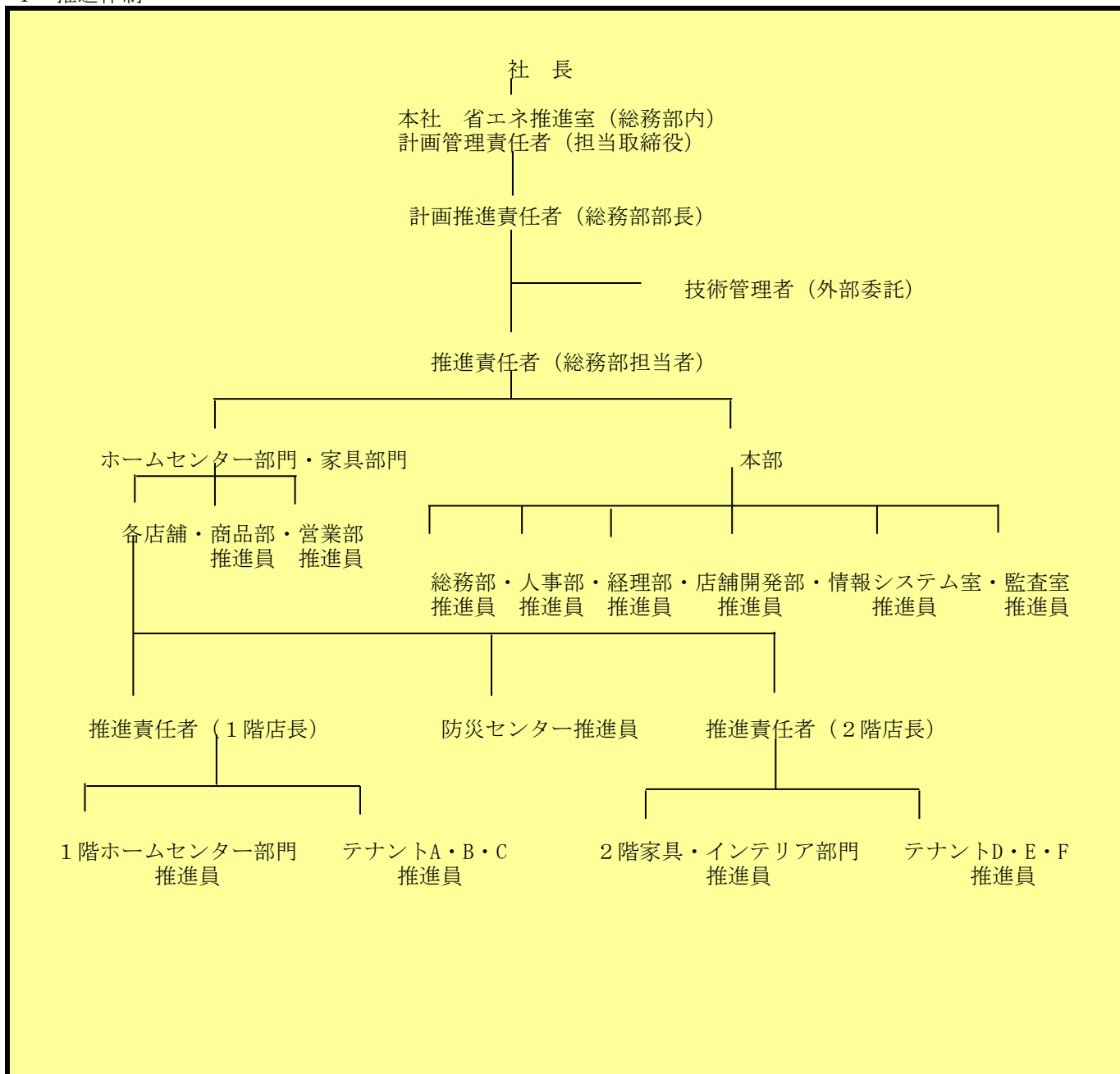
### 2 計画期間及び実施年度

計画期間	2016	年度～	2018	年度	実施年度	2018	年度
------	------	-----	------	----	------	------	----

### 3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

<p>当社は次の点を重視して、温室効果ガスの抑制対策に取り組む方針である。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>全社的及び各店の組織を整え、設備及び運用の見直しを図る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>主要なエネルギー使用設備の更新予定 更新対象：新山下店EHP・東戸塚店GHPを高効率化、横浜店 看板灯をLED化 選択理由：竣工時より使用しており、最新の機器を導入する事により省エネ効果が見込まれる為 更新予定年度：平成30年度</li> </ul> </li> <li>電力削減対策として全社的に以下の事項を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>エレベーター、トラベーター、エスカレーター等の動力系の曜日別の稼働調整</li> <li>空調の設定温度（夏期 28℃など）</li> <li>空調の運転停止（使用していない時間、エリア）など</li> <li>店舗バックヤードの消灯及び空調の運転停止。</li> </ul> </li> <li>その他の取り組み <ul style="list-style-type: none"> <li>ゴミの分別リサイクルに努め、廃棄物の削減を図る。</li> <li>ペーパーレス化への取り組みを図り、紙ごみの削減をする。</li> <li>衛生委員会において、建物内の環境をチェックし、衛生及び安全面などを考慮した省エネ対策を実施する。</li> </ul> </li> </ol>
--

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	株式会社 島忠 本部 総務部
	所在地	埼玉県さいたま市中央区上落合8-3-32
	閲覧可能時間	10:00～12:00 13:00～17:00 (平日のみ)
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (2015年度)	基準排出量	4,703	t-CO <sub>2</sub>				基準原単位	30.23	t-CO <sub>2</sub> / 千m <sup>2</sup>
	調整後	4,623	t-CO <sub>2</sub>				目標原単位	29.32	t-CO <sub>2</sub> / 千m <sup>2</sup>
目標年度 (2018年度)	目標排出量	4,561	t-CO <sub>2</sub>	削減率	3.0 %	目標原単位	削減率	3.0 %	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	<p>全社目標として年1%の削減率を設定しているため、横浜市においてもこれに準ずる目標を設定した。この目標は設備等の運用面での効率化及び設備更新による削減によって達成させる計画である。</p>								
事業者全体としての目標等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会社全体の目標</li> <li>・設備の見直しを行うことにより、エネルギーの最適化・効率化を追求するとともに、運用対策を実施することにより、目標以上の削減を目指す。</li> <li>・削減目標に大きく寄与する地域</li> </ul>								
第一年度 (2016年度)	排出量	4,658	t-CO <sub>2</sub>	削減率	1.0 %	排出原単位	29.94	t-CO <sub>2</sub> / 千m <sup>2</sup>	
	調整後	4,536	t-CO <sub>2</sub>	削減率	1.9 %		削減率	1.0 %	
目標等の達成状況及び説明	<p>以下の節電対策を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新川崎店の照明器具をHF管からLED照明に切り替え（2016年12月）</li> <li>・エレベーター、エスカレーター、トラベーター等の曜日別稼働調整</li> <li>・空調の温度設定28℃（夏期）</li> <li>・使用していない時間・エリアの空調停止、消灯の徹底</li> </ul>								
第二年度 (2017年度)	排出量	4,206	t-CO <sub>2</sub>	削減率	10.6 %	排出原単位	27.04	t-CO <sub>2</sub> / 千m <sup>2</sup>	
	調整後	3,961	t-CO <sub>2</sub>	削減率	14.3 %		削減率	10.6 %	
目標等の達成状況及び説明	<p>以下の節電対策を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エレベーター、エスカレーター、トラベーター等の曜日別稼働調整</li> <li>・使用していない時間・エリアの空調停止、消灯の徹底</li> <li>・2016年度に行った照明のLED化の効果が、2017年度は1年を通して削減効果につながった。</li> </ul>								
第三年度 (2018年度)	排出量	4,247	t-CO <sub>2</sub>	削減率	9.7 %	排出原単位	27.30	t-CO <sub>2</sub> / 千m <sup>2</sup>	
	調整後	3,900	t-CO <sub>2</sub>	削減率	15.6 %		削減率	9.7 %	
目標等の達成状況及び説明	<p>以下の節電対策を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エレベーター、エスカレーター、トラベーター等の曜日別稼働調整</li> <li>・使用していない時間・エリアの空調停止、消灯の徹底</li> <li>・屋外駐車場その他未使用場所の照明消灯実施</li> </ul>								
計画期間全体の排出状況に関する説明	<p>以下対策により、目標排出量達成に至った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新川崎店の照明LED化</li> <li>・エレベーター、エスカレーター、トラベーター等の稼働調整および間引き運転</li> <li>・使用していない時間・エリアの空調停止、消灯の徹底</li> <li>・屋外駐車場その他未使用場所の照明消灯実施</li> <li>・第三年度は特に夏期の猛暑により空調運転時間が増加したが、室内温度管理の徹底により、エネルギー増加を最小限に抑制した</li> </ul>								

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 （年度）	基準排出量		t-CO <sub>2</sub>			基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後		t-CO <sub>2</sub>			目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度 （年度）	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%	削減率		%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方									
事業者全体としての目標等									
第一年度 （年度）	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%			削減率
目標等の達成状況及び説明									
第二年度 （年度）	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%			削減率
目標等の達成状況及び説明									
第三年度 （年度）	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%			削減率
目標等の達成状況及び説明									
計画期間全体の排出状況に関する説明									

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
500k1以上 1,500k1未満	2	2,556	1	1,556	1	1,371	1	1,452
500k1未満	4	2,147	5	3,102	5	2,835	5	2,795
合計	6	4,703	6	4,658	6	4,206	6	4,247

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合(%)		%		%		%		%

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度										
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況			
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	6/6	—	年度			実施済	6/6	—	年度			実施済	6/6	—	年度			
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	6/6	—	年度			実施済	6/6	—	年度			実施済	6/6	—	年度			
	3	機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	6/6	—	年度			実施済	6/6	—	年度			実施済	6/6	—	年度			
	4	照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	6/6	—	年度			実施済	6/6	—	年度			実施済	6/6	—	年度			
	5	エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度			
	6	各種図面の整備	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度	蒸気配管、圧縮空気なし		非該当	/	—	年度	蒸気配管、圧縮空気なし		非該当	/	—	年度	蒸気配管、圧縮空気なし		
	7	外気導入量の適正管理	個別票対象事業所	未実施	実施中	0/1	—	2018年度		関係資料整備中	実施中	0/1	—	2018年度		関係資料整備中	実施中	0/1	—	2021年度		一部必要設備拡充修正のための予算計画延期のため	
	8	フィルター等の清掃	個別票対象事業所	未実施	実施済	1/1	—	年度		空調設備簡易点検チェックシートで毎月チェックを実施	実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度			
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度	設備なし		非該当	/	—	年度	設備なし		非該当	/	—	年度	設備なし		
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度			
	11	室内温度の適正管理	事業所	実施済	実施済	6/6	—	年度			実施済	6/6	—	年度			実施済	6/6	—	年度			
	12	地下駐車場の換気管理	事業所	非該当	非該当	/	—	年度	地下駐車場なし		非該当	/	—	年度	地下駐車場なし		非該当	/	—	年度	地下駐車場なし		
	13	照明設備の高効率化	事業所	実施済	実施済	5/5	—	年度			実施済	5/5	—	年度			実施済	5/5	—	年度			
	14	事務所機器の待機電力管理	事業所	実施済	実施済	6/6	—	年度			実施済	6/6	—	年度			実施済	6/6	—	年度			
	15	機器性能管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	設備なし		
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	設備なし		
	17	燃焼設備の空気比管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	設備なし		
	18	排出ガス温度の管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	設備なし		
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	設備なし		
	20	工業炉表面の断熱強化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	設備なし		
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	設備なし		
	22	コンプレッサの吸気管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	設備なし		

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度									
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況		
第3号該当事業者	23	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度	
	24	自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度	
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度	
	26	エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度	
	27	自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)	/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度	



細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1		年度		
2		年度		
3		年度		
4		年度		
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	2018年度	横浜市内事業所	347	東京電力エナジーパートナー
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペーパーレス化への取り組みを図り、紙ごみの削減をする。</li> <li>・節水を行うことで削減する。（設備の見直し）</li> <li>・商品の搬入時には、アイドリング・ストップを運転手に対して求める。</li> </ul>
計画期間内に実施する対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネタイプの商品の販売推進に取り組む</li> <li>・クールビズ（5月～10月）に取り組む</li> <li>・節水を行うことで削減する。（運用）</li> </ul>
第一年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミの分別リサイクルの徹底を図った。</li> <li>・エレベーター、トラベーター、エスカレーター等の動力系の曜日別稼働調整を行った。</li> <li>・省エネ・節電対策商品の販売促進に注力した。（LED照明、太陽光発電、植物（緑のカーテン）、冷感寝具など）</li> <li>・クールビズを行っている。（5～10月）</li> </ul>
第二年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペーパーレス化への取り組み強化を図った。</li> <li>・クールビズ（5月～10月）に取り組んだ。</li> <li>・衛生委員会において建物内のチェックをし、対策案の検討を行った。</li> </ul>
第三年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペーパーレス化への取り組み強化により、紙ごみの削減を促進した。</li> <li>・クールビズ（5月～10月）に取り組んだ。</li> <li>・衛生委員会において建物内のチェックをし、対策案の検討を行った。</li> </ul>

14 実施状況等に対する自己評価

<p>当社では、目頃から温室効果ガス抑制に向けた対策の積極的実施に努めている。 以下の省エネ対策に取り組むことによって、社員及びテナント従業員の省エネルギーや地球環境に対する意識の向上が図られた。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 温度設定の管理</li> <li>2. 省エネ推進体制の組織の見直し</li> <li>3. 屋外照明のタイマー設定時間の管理</li> <li>4. バックヤードの適正な照度管理（点灯時間、使用時のみ点灯）の実施</li> <li>5. 省エネ意識の統一のため、定期的に注意喚起を行った。</li> <li>6. エレベーター、トラベーター、エスカレーター等の動力系の曜日別稼働調整</li> </ol>
--